

(令和4年度自己評価公表シート)

1. 本園の教育目標

「強く、正しく、美しく」を建学の精神とし、「基本的生活習慣を身につけ、たくましい心身と思いやりの心を育て、よく考えて行動できる子どもを育成する」を教育の目標として日々の保育に取り組む。

幼児期にふさわしい生活が送れるよう、異年齢交流や自然観察の機会を多く取り入れ、直接的な体験学習をし、伸び伸びと「自主・協力・創造」する力を培う保育を展開する幼児教育を目指している。

2. 本年度に重点的に取り組む目標や計画

自己点検・自己評価を行い、下記の点について重点的に取り組む

- 1、教師が客観的に保育を振り返り、保育に必要なスキルアップに努める。
- 2、安全管理、危機管理の点検を行い、安心して過ごせる環境づくりを行う。
- 3、就学までに育てたい子どもの姿を明確にし、たてよこのつながりを大切に教職員間で共有する。
- 4、魅力ある園づくりのための環境構成と情報発信を行う。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	取組状況
ア、幼児の理解と 保育のスキルアップ	保育園の実習に参加し、0～2歳までの子どもの発達や環境構成を体験させてもらった。未就園児に対する対応の仕方、親子教室での環境構成の参考になった。又、現在の園児の入園前の姿をとらえ、連続した成長への関わり方を保育実践していけるように努める。
イ、安全管理、危機管理の意識アップ 訓練やマニュアルの見直し	バスや園内での安全について、改めて話し合う。放課後デイ等に通う子どもの引き渡しの仕方、バス送迎時のマニュアル整理、実践確認、防犯訓練など、積極的に行えた。AEDの救命講習も園内で行い意識を高めることができた。
ウ、たてわり活動の充実	登園後や降園前に、たてわり活動を行うが、たてのつながりが深まるほどの活動ができなかった。今後も週の計画に活動日を入れ、継続して機会を増やせるように努める。
エ、情報発信	保護者に対して、配信を利用し園内での保育の様子を伝えるようにした他、参観を実施し園での様子を見てもらう機会を作った。SNSなども利用して、外部への園の情報発信を試みている。

オ、保護者・園児への寄り添いに対するの学び	子どもへの寄り添いは、できているが保護者へは言葉足らずの面があり、十分により添えていない面もあった。保護者へ園の魅力をも十分に伝える為、今後も気づきや聴く姿勢を大切にしていきたい。
-----------------------	--

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

感染対策を行いながら、園の活動を止めることなく行えた。様々なニュースで安全対策について再度見直しや話し合いの機会が増え、より安全意識が高まった。園の活動を、情報発信しているがまだ、頻度や方法など今後も工夫が必要である。発達理解も深まったので、たてわり活動や年齢に応じた保育計画や今後の保育環境、あそびの充実に努めるようにする。

5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
たてわり保育やチーム保育の機会を広げ、教職員間の協力的な体制を整える	先生間での参観等を行ったり、サポートの先生を交えて話し合いの機会を増やしたり、教職員間での園児の情報の共有・話し合いを徹底し、協力体制を整える
保護者・地域への魅力の伝え方・情報発信	園での様子や保育についての情報発信や、保護者への伝達の仕方・情報共有の仕方の見直し、地域への幼稚園の魅力の発信方法を考える。

6. 学校関係者の評価

課題としては、おおむね達成できているとの評価だった。
 幼児の発達についてや安全管理、たてわり保育の充実については、発達を理解し保育に取り入れるようにしている姿が、子どもたちの話から伝わってくる。
 コロナ禍が落ち着いている中でも、配信を続けてくれているので園での保育の様子が分かり、子どもたちとの家での会話のきっかけになりとても良い。外部への情報発信としては、HPやSNSが更新されていないので写真などを使用し、より魅力ある園の発信につなげてほしい。また、先生と保護者との対話を大切に、交流を深めながらよりよい園になる事を願う。

7. 財務状況

公認会計士監査により適正に運営されていると認められている。